

各地の話題 栗原市

2025年1月1日号掲載



「伊豆沼レンコン」収穫最盛期

レンコン生産地の北限とされている栗原市若柳地区では、レンコンの収穫が最盛期を迎えている。生産者は冷たい泥水につきながら作業を進めている。収穫作業は12月にピークを迎え、来年3月まで続く。

栗原市のレンコン栽培は、約40年前の大雨で壊滅的な被害を受けた伊豆沼のハスを復活させようと、周辺の水田で栽培したハスの根を「伊豆沼レンコン」としたのが始まりで、現在は市の特産品になっている。

伊豆沼レンコン育成協議会に参加し、50アールに定植している^{おおばこうたろう}大場孝太郎さんは、今年で栽培13年目。地域の直売所を中心に出荷している。

レンコンは多数の穴が空いていることから「将来を見通せる」とかけて縁起物としておせち料理にも使われる。12月になると正月用の需要が増えることから、1日約80キロを収穫する。

大場さんは「肉厚で甘味がありシャキシャキ感が伊豆沼レンコンの特徴。消費者には大変喜ばれている。煮物やてんぷらだけではなく、すりおろしてスープもおすすめ」と話す。

レンコンを手にする大場さん



【記事提供】 栗原市農業委員会